

1. Pine Great Factory 社に対してデモ発生

7/20、およそ400人の労働者が、社会問題相の周辺に集まり、未払い賃金を抱えたまま3か月前に逃走した工場オーナーの問題の解決を、政府に迫った。プノンペン Meanchey 地区にある Pine Great 工場の自由貿易組合代表 Khem Chamnan 氏は、今回が3回目のデモだと話し、「工場のオーナーは、4月に労働者への賃金を支払わないまま逃げてしまいました。労働者たちには、それ以来なにも支払われていません。もう3ヶ月も前の出来事なのに、政府はなにもしません」述べた。5月、閉鎖された工場に勤めていた700人以上の労働者は、未払い賃金の支払いを約束された。しかし、いざ支払いを受けようと工場に出向いた労働者たちは、すでに設備の大半が取り払われ、オーナーも姿を消した空っぽの工場を目にしたただけであった。労働者たちは「オーナーは中国に逃げ帰ったのではないか」と話している。

社会問題相でストライキとデモ活動解決に努めている Vong Sovann 氏は、「今回の問題を解決するために、新たな労働組織を作り、この組織で労働者や労働組合と面会をし、問題解決に取り組んできた。その結果、労働者たちが賃金を受け取っていないということが判明したので、この問題は裁判所に持ち込んで、法に則った解決をしてもらおうと考えています。もし裁判所から工場の設備売却命令がでて、労働者の賃金を支払いきれない場合、逃げたオーナーの逮捕状を出すでしょう」と付け加えた。

2. アシックス社、事故で死亡した遺族に対して補償金支払い



7/07、アシックス社が、Wing Star 靴工場において起きた5月16日の天井崩落事故について、死亡した2人の労働者の遺族に支払いをすることに同意をした。金額に関しては明らかになっていないが、数万ドルの補償金が支払われるとのことだ。また、アシックス社の上級役員 Ron Pietersen 氏は、事故で死亡した Kim Dany さんは、出生証明書によると15歳ではなく13歳だったことをポスト紙に明らかにした。

Wing Star 靴工場からの唯一のバイヤーであった会社のオーナー Pietersen 氏は、Dany さんと Rim Roeun さん22歳の遺族に対して責任を取って支払いをするよう政府に要求し、「わが社は取るべき責任はすでに取ったと思っています。国の安全保障基金(National Social Security Fund / NSSF)も、きちんと責任を取るべきです」と話した。Dany さんの父親 Korn Vet さん45歳は、「事故の補償金に関しては満足しています。土曜日に、Rim Roeun さんの母親と奥さんとともに、アシックス社社員の方と面会をしました。今回の補償金はフェアであり私たち家族は満足しています」と話している。

また、わずか13歳の少女が工場の労働に従事していたという報道後に、Pietersen 氏は Wing Star の姉妹工場である Ying Dong Shoes 社に職員を送ってその問題を話し合った。Pietersen 氏は「Wing Star に勤めていた Dany さんは、IDを偽造していたため、本当の年齢はまだ良くわからない。私は書類をまだ見ていませんが、我々の弁護士は目を通しています。彼の話では、出生証明書は13歳となっているようです。Dany さんの年齢の問題によって、遺族が NSSF から補償金を受け取りにくくなるのではと心配している」、と話している。

アメリカ国際労働連帯センターの地域部長である Dave Welsh 氏は、「アシックス社はすでに、カンボジアの生活水準からすれば、かなりの高額と思われる額を支払うことによってその責任を果たした。次は NSSF が支払いによる責任をとる番である。NSSF は、世界でもっとも貧しい層にある労働者たちが、月々の給料から支払って作り上げたシステムです。明らかに、支払う義務があります」と、話している。NSSF からのコメントはまだない。

3. Sabrina 社の組合員は保釈されず

7/12、被告側弁護人の Kao Ty 氏は、非公開で行われた審判において、「裁判所は州裁判所の決定を支持する判決を出したようである。裁判所は、もし8人のメンバーが保釈された場合、彼らはまだ問題を起こすだろう、との見方をしました。私は今回の決定に対し抗議するつもりです。もし本当に、彼らが人々に怪我をさせ会社の備品を傷つけたのであれば、彼らを留置するという裁判所の決定に反対したりはしません。しかし実際、彼らはやっていないのです。」と話している。州裁判所の裁判官 Cheum Rithy 氏は、公判期日がまだ決定していないということと、組合メンバーを留置するという自身の決定が正しいのだということを主張した。「彼らを保釈すれば、我々の調査の邪魔になるでしょう」と彼は話す。

4. カンボジア人権センター、縫製工場マップ作成

7/01、縫製分野において労働条件の改善を求める争議が頻発していることを踏まえ、カンボジア人権センターはカ

ンボジア国内の縫製工場の詳細な情報＝『縫製工場マップ』（工場 559 か所すべての住所、オーナーの国籍、雇用者の数、情報の入手できるアドレス、契約している海外ブランド名などが分かるようになっている）を発表した。同センターは、「これによって生産者からバイヤーまでのサプライチェーンに、より透明性が期待されるだろう」、としている。発表された内容には、それぞれの工場の責任を誰が担っているのかといったことも含まれている。この縫製マップを見ていくと、カンボジアで生産され海外で使用される製品の種類は本当に数限りないものであることがわかる。下着や靴といった通常の衣料品から、病衣やバレエシューズといった特殊なものまで製造されている。まさに縫製分野はカンボジアにとって最大の輸出業であることがはっきり見て取れる。

カンボジア人権センター代表の Ou Virak 氏は、「顧客や労働者、組合や投資家、政府やバイヤーなどに、サプライチェーンの詳細な情報を公開することで、製品に関わるすべての人たちが重要なプレーヤーに切り替わることができます。そして、労働者の人権を侵害している工場にとってはこの情報公開はプレッシャーとなります」と話す。カンボジア縫製業協会の代表 Ken Loo 氏は、「縫製業のサプライチェーンの複雑さに理解を示した上で、このマップの掲載によって労働争議はバイヤーにとってもプレッシャーのかかるものとなるだろう」、と話した。

5. プノンペンの洪水事情

7/11、週末をまたいだ洪水に対し、大衆の怒りが爆発したため（一部は facebook 上で煽られた作り話であったが）、プノンペンシティホールでは非公開の緊急会議が行われ、排水計画の促進が図られた。

プノンペン Tuol Kork 地区の洪水は、市民の激怒を招いているが、それは交通手段の寸断による移動の不便さを、フォトショップによって加工されたデマ写真が増幅したからである。そのデマ写真には、ワニが市内を泳ぎ回る様子や、ボートに乗った釣り人が水浸しの道路で魚釣りをしている様子などが載っていた。広く出回っているデマ写真はプノンペン市民から多くの批判を集めており、写真に投稿されたコメントを見てみると、怒る市民の中には、爬虫類が本当に市内に出没した、と信じてしまった者もいるようだ。

しかし、こういったデマ写真とともに本物の写真も出回っている。本物の写真には、人々がモーターバイクのシートを水面に浸しながらも、濁った水の中を懸命に移動しようとしている様子が写っていた。「今回の洪水は前回のものよりもひどかったです」と語るのは Tuol Kork に住む Ngoun Chanta さんだ。「学校に行くのも仕事に行くのも困難ですし、バイクも壊れてしまいます」と彼は話した。



プノンペンの洪水対策チームに所属する Men Sophen さんは、「JICA が後援をしている排水計画に携わっている職員達に対して、計画のスピードをあげて戦略的な位置に早く水道管を配置するようにと促した。しかし不適切なゴミの廃棄が洪水問題を助長させている」と、と話している。なぜなら道路上にゴミが置かれることによって水道管や配水管が詰まるからである。

JICA の Izaki Hiroshi 氏は、プノンペンにおける排水計画の進展度合いについて、「計画の第一段階、第二段階は、およそ 470 キロメートルにわたる水道管を、市の地下に配置することであったが、これは 2007 年から 2010 年にかけてすでに達成されている。次の第三段階は、さらに 20 キロほどの水道管をプノンペンの Tuol Tom Pong、Boeung Keng Kong、O' Russey そして Tuol Svay Prey といったエリアの地下に付け足していく予定である。2015 年までに完了が予定されているこの計画には、合計で 2600 万ドルが投資される予定である」と話している。

「プノンペンは、洪水を免れるもっと良い方法を、この雨季のうちに考案しなくてはなりません」と、市議の Pa Socheatavong 氏は語っている。

6. フン・セン首相の父が死亡

7/12、フン・セン首相の父親である Hun Neang 氏が、今朝の 4 時 10 分にプノンペンで死亡した。この日は彼の 90 歳の誕生日まであと 1 ヶ月という日であった。Neang 氏の健康状態はここ最近悪化しており、2011 年に治療のためシンガポールを訪れた時から、公の場に姿を見せることはなかった。National Committee for Organising National and International Festivals の代表を勤める Um Kemikor 氏によると、Neang 氏は自宅で死亡したとのことだ。「プノンペンにある首相の自宅で、彼のお葬式を行う準備に取りかかります」と彼は話す。フン・セン首相の個人秘書である Seng Tieng 氏はポスト紙に対し、「Neang 氏の葬式は水曜日に予定されている」、と語った。

7. 総選挙関連情報

①野党党首の出馬認めず＝カンボジア総選挙で選管

7/22、カンボジアの国家選挙管理委員会は、最大野党カンボジア救国党のサム・レンシー党首が28日投票の総選挙に出馬することを認めない判断を下した。AFP通信が伝えた。救国党側の反発は必至で、波紋を呼びそうだ。サム・レンシー党首は恩赦を受けて19日に事実上の亡命先のフランスから約4年ぶりに帰国したばかり。帰国後、選管に立候補者名簿への登録を要請したが、選管は「立候補者登録プロセスの条件を満たさなかった」と述べて出馬を認めなかったという。これに先立ちサム・レンシー党首は米政府系放送局ラジオ・フリー・アジア(RFA)のインタビューに対し、出馬が認められなかった場合、「選挙後に全カンボジア人が抗議し国際社会がその結果を非難し、不正な選挙と見なすだろう」と警告していた。

②カンボジア：総選挙の実施に伴う注意喚起（外務省スポット情報、2013年07月25日）

- 1 カンボジアでは、7月28日、国民議会議員選挙が予定されており、現在、カンボジア全土で、各政党による選挙運動が盛んに行われています。
- 2 各政党の街宣活動は、今後選挙戦終盤に向け一段と活発になるものと思われ、今後の動向や選挙結果次第では、政治的背景等から、投票日前から選挙後の一定期間、各政党の運動員の間で出会い頭に乱闘騒ぎになる等の各種の不測の事態が発生する可能性は排除されません。（現在の政治・経済・社会的背景は異なりますが、過去の国民議会議員選挙においてはプノンペンや一部の地方において、政治的背景が疑われる殺害事件や政党事務所への銃撃、手りゅう弾攻撃事件が発生しています。）
- 3 つきましては、カンボジアに渡航・滞在を予定している方または既に滞在中の方は、選挙後政治情勢が落ち着くまでの間、不測の事態発生の可能性を念頭におきつつ、以下の点に留意し、安全確保に努めてください。なお、国家選挙管理委員会によれば、選挙暫定結果の発表は8月10日、公式結果の発表は8月14日～9月8日の予定です。
 - (1)外出の際には、周囲の状況に十分注意を払い、各政党の集会や街宣行進に遭遇した場合には、近寄らないなどの措置をとる。
 - (2)一般的に攻撃の標的となりやすいと思われる場所(政府機関、軍・警察等治安当局施設等)や各政党事務所及び選挙当日の投開票所の周辺にはできる限り近づかない。
 - (3)人が集まる場所において、特定の政党を非難したり、支持したり、また、政治的議論を行うことは避ける。
 - (4)外出の際には、家族、職場や知人等に所在を明らかにしておくとともに、連絡がつくようにしておく。
 - (5)報道や在カンボジア日本大使館等を通じ最新の治安関連情報を収集する。

③与党が勝利宣言、政権維持へ＝野党も躍進－カンボジア総選挙

7/28、カンボジア下院(定数123、任期5年)選挙の投票が行われ、即日開票された。与党カンボジア人民党は独自集計の結果、68議席を獲得したとして勝利を宣言、フン・セン首相が続投する見通しとなった。これに対し最大野党カンボジア救国党は躍進、倍増に近い55議席を得る見込み。選挙は首都プノンペンと23州から成る計24選挙区で争われる比例代表制で、8政党が参加。1998年以来3回連続で下院選に勝利している人民党が地方を中心とする強固な地盤に支えられて過半数を押さえた。ただ、2008年の前回選挙で獲得した90議席から大幅に後退した。

救国党は、サム・レンシー党と人権党が合併して結成されたもので、サム・レンシー党首の出馬が認められなかったが、長期政権下での腐敗や経済格差の是正などを訴えて都市部の若年層を軸に支持を広げ、旧2党が前回選挙で得た29議席を大きく上回った。人民党の対抗勢力として政界での影響力は高まることになる。サム・レンシー党首は28日夜、いったんは救国党の勝利を宣言する声明を出したものの撤回。その後の記者会見で今回の選挙について「全カンボジア国民の勝利だ」と述べた。

今回の選挙戦は過去に比べ暴力事件が大幅に減り比較的平穏だったが、投票日当日には、プノンペン市内の投票所で権者名簿に自分の名前がないのに怒った一部有権者が、警察車両を破壊するなど暴徒化。投票を終えた有権者の指に付けるインクが容易に消せることも判明するなど、救国党や人権団体から不正行為を懸念する声が上がっている。人民党の集計によると、シアヌーク前国王派の流れをくむ王党派のフンシンベック党(前回2議席)は議席を失う見通し。

8. 最近の外資の進出状況

・みずほ銀行がプノンペンにオフィス設立

7/09、日本の大手銀行のひとつが、外国人、とりわけ日本人の投資家をターゲットとした駐在員事務所を昨日プノンペンに設立した。みずほ銀行プノンペン支店の支店長となる Takeshi Fukui 氏は、カンボジアの投資状況に関する情報の收拾と提供を行っていく予定である、と話をした。実際の海外支店ではなく駐在員事務所をプノンペンに設立したのは、日本の大手銀行のなかではみずほ銀行が3番目である。みずほ銀行に先駆けては、東京三菱UFJ銀行と三井住友銀行が進出している。カンボジアにおける日本人の投資はここ3年間で目に見えて増加している。プン

ペンにある日本大使館の公表したデータによると、プロジェクトへの投資は 2012 年合計で 3 億 3000 万ドルとなり、2011 年の 7500 万ドルから大きな飛躍となった。3 月末には、カンボジア日本人商工会のメンバーは 115 人となり、2012 年末の 101 人から増加している。

•**マレーシアのナザ、カンボジアでバイクのCKD生産工場の設置計画**

自動車の組み立て・販売を手掛けるマレーシアのナザ・グループ傘下のナザ・ワールド・バイクは、今後3年以内にカンボジアで3万台のオートバイを販売して同国で10%のシェアを獲得することを目指す。販売目標の達成に向けて、3年以内に完全ノックダウン(CKD)生産工場を同国に設置する計画。

•**佐川急便:SGホールディングス、プノンペンに拠点**

7/23、佐川急便=SGホールディングスは、カンボジア首都プノンペンに支店を開設し、業務を開始したと発表した。グループの海外事業統括会社(シンガポール)のベトナム現地法人「佐川急便ベトナム」の支店という位置付け。既にサービスを行っているベトナム-カンボジア間のトラック輸送や、カンボジア発の輸送需要の取り込む一方、タイを含めた3カ国のサービス構築を目指す。

以上